

学校あり方ミーティング（保護者の意見）

1. 参加者の意見と参加状況

保護者の参加人数が少なかったことに懸念が寄せられた。周知の方法に問題があるとの指摘があり、保護者が参加しやすい時間帯を選定することが求められる。特に、金曜日の開催であれば、翌日が保育園の休みであるため、参加が容易になるとの意見もあった。

2. 学校の統廃合に関する考察

保護者の間では、学校の統廃合に対する強い関心と不安がある。具体的には、地域の校区変更に伴う通学距離の延長や、少人数学級の維持が難しくなる懸念が挙げられている。また、統廃合に伴い、利用しなくなる学校の活用方法についての提案もあり、遊び場の提供に対する期待が示された。さらに、統廃合の進行によって、子育て支援施策や地域魅力の向上が不可欠とされ、保護者はこの点でも意見を述べている。

3. 教育の質と方法に対する要望

教育方法についての意見も多く見られた。特に「イエナプラン教育」の導入や、インクルーシブ教育を進めるべきとの声が上がる一方で、バリアフリー化を進め、肢体不自由児への配慮も求められている。学習環境やクラス編成に対する意見も重要視されており、特に小学校でのクラス数増加や監視カメラの設置など、安全面や安心感を担保するための具体案が強調された。

4. 地域魅力の向上とコミュニティの支援

意見の中には、池田町に住む理由や地域への魅力向上を求める声が目立った。地域の公園や子育て支援の強化が求められており、特に大型遊具や屋内公園の設置が提案されている。さらに、地域の特性を生かしたイベントの開催や、居住促進のための支援策（例：児童手当の増加）への期待も表明された。

5. その他の重要な要素

最後に、資料に関する指摘もあり、小学校と保育園の数値基準が一致しないことや資料の視認性が悪いという意見が寄せられた。また、不登校の増加についての原因追及や、学校内での安全管理体制の強化が必要との意見もあり、今後の議論でこの点を考慮すべきとの提案があった。